

白山中学校 第3学年「家庭科」シラバス	担当者	石毛
---------------------	-----	----

家庭科の目標

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

評価の観点（方法）

- ・ 知識・技能
- ・ 思考・判断・表現
- ・ 主体的に取り組む態度

積極的に取り組む意欲や態度

作業や実習、実習計画立案への積極性、作品の提出状況、レポート、作品、学習プリントの記入状況、テストなどを総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・ 衣食住やものづくりなどに関する実践的・体験的な活動を行う。
- ・ 自ら課題を見だし、解決を図る問題解決的な学習の充実を図る。
- ・ 家庭、地域社会との連携や生涯学習の視点をふまえつつ学習内容を考える。

	学習内容	学習のねらい
家庭科	<p>○ 幼児の生活と家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児のころと今の自分 ・ 幼児の体の発達 ・ 幼児の心の発達 ・ 発達にとってのおとなの役割 ・ 遊びが必要なわけ ・ 遊びを支える環境 <p>○ 幼児とのかかわり</p> <p>○ 家庭生活と地域のかかわり</p> <p>○ 持続可能な家庭生活</p> <p>○ 3年間をふり返って</p>	<p>○ 自分の成長が多くの人々に支えられてきたことに気付く。</p> <p>幼児の心身の発達の特徴や基本的な生活習慣の重要性を知り、幼児に直接関わる家族の役割について理解する。</p> <p>自分の成長を振り返り、幼児の特徴を理解する。</p> <p>○ 自分の将来について考え、これからの自分と家族とのかかわりや自分の生活に関心をもつ。</p> <p>○ 介護など高齢者との関わり方について理解する。</p> <p>○ 社会や環境に配慮した生活について考える。</p> <p>○ 学習したことをこれからの生活に生かせる事を考える。</p>

白山中学校 第2学年「家庭科」シラバス	担当者	石毛
---------------------	-----	----

家庭科の目標

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

評価の観点（方法）

- ・知識・技能
- ・思考・判断・表現
- ・主体的に取り組む態度

積極的に取り組む意欲や態度

作業や実習、実習計画立案への積極性、作品の提出状況、レポート、作品、学習プリントの記入状況、テストなどを総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・衣食住やものづくりなどに関する実践的・体験的な活動を行う。
- ・自ら課題を見だし、解決を図る問題解決的な学習の充実を図る。
- ・家庭、地域社会との連携や生涯学習の視点をふまえつつ学習内容を考える。

	学習内容	学習のねらい
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じた衣服の選択 ○日常着の手入れと保管 ○生活を豊かにするものの製作 ○生活の課題と実践 ○持続可能な衣生活 ○住まいのはたらきとこちよさ ○安全な住まいで安心な暮らし ○持続可能な住生活 ○家庭生活と消費 ○購入・支払いと生活情報 ○消費者被害と消費者の自立 ○持続可能な社会 	<ul style="list-style-type: none"> ○衣服の役割や着方 ○日常着の手入れや補修をすることができる。 ○住まいのはたらきを知り、住まい方の工夫ができる。 ○安全で快適な室内環境を考える。 ○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方を知る。 ○生活が消費につながっていることがわかる。 ○消費者の権利と責任を知る。 ○自分の家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。

白山中学校 第1学年「家庭科」シラバス	担当者	石毛
---------------------	-----	----

家庭科の目標

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

評価の観点（方法）

- ・ 知識・技能
- ・ 思考・判断・表現
- ・ 主体的に取り組む態度

積極的に取り組む意欲や態度

作業や実習、実習計画立案への積極性、作品の提出状況、レポート、作品、学習プリントの記入状況、テストなどを総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・ 衣食住やものづくりなどに関する実践的・体験的な活動を行う。
- ・ 自ら課題を見だし、解決を図る問題解決的な学習の充実を図る。
- ・ 家庭、地域社会との連携や生涯学習の視点をふまえて学習内容を考える。

	学習内容	学習のねらい
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭分野のガイダンス ○自分の成長と家族・家庭生活 ○食事の役割と食習慣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の役割 ・ 健康によい食習慣 ○中学生に必要な栄養を満たす食事 <ul style="list-style-type: none"> ・ /中学生の発達と必要な栄養 ・ 栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ・ 栄養バランスを目で見て判断 ○様々な食品と選択 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生鮮食品の選択と保存 ・ 加工食品の選択 ・ 食品の安全と情報 ○日常食の調理 ○地域の食文化 	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間の学習内容の見通しをもつ ○自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える ○健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。 ○日常の食生活と関連づけて中学生の時期の栄養に関する知識を理解する。 ○食品の栄養的特質を知る。 ○中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解する。 ○食品の選択ができ、簡単な日常食の調理ができる。 ○自分の食生活を改善し、環境に配慮した食生活の工夫

